

沖縄における鉄軌道をはじめとする
新たな公共交通システム導入課題検討に向けた基礎調査
(平成24年度調査結果)

パンフレット



内閣府

I. 調査概要

(1) 調査実施の背景と目的

〈調査実施の背景〉

- 人口約140万人の大半が那覇を中心とした中南部都市圏に集中
- 中南部都市圏は政令指定都市並の人口密度
- 幹線道路の慢性的な交通渋滞が発生
- 年間約600万人の観光客が訪問
- レンタカー利用による一層の交通渋滞が発生



- 観光や物流など多方面に経済損失をもたらしています
- 二酸化炭素の排出など環境に大きな負荷をかけています
- 今後のさらなる高齢化により交通弱者と呼ばれる方達への対応が必要となってきます



〈平成22、23年度に鉄軌道等の導入可能性基礎調査を実施〉

- 交通事業としての成立性は厳しい見通しで、持続可能な公共交通システムとなるには多くの課題があることを把握しました。



〈平成24～26年度の調査目的〉

- 鉄軌道等の導入課題への対応方策について、幅広く検討に取り組んでまいります。
- 1年目の平成24年度は、把握した課題に対応するため、コスト縮減方策、需要喚起方策や導入効果の計測手法等について検討を進めました。